

WTSA-12 APT準備会合（第3回）の結果概要

資料3-3

概要

平成24年4月23日 電気通信システム委員会事務局

2012年3月19日(月)～21日(水)、オーストラリア(ケアンズ)において、WTSA-12 APT準備会合(第3回)が開催された(副議長:深堀国際情報分析官)。全体として27カ国から93人が出席、我が国からは11人(総務省、TTC、NTT、KDDI、NEC、日立、三菱電機の7組織)が出席。

主な議論結果

WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly(世界電気通信標準化総会)
APT: Asia Pacific Telecommunity(アジア・太平洋電気通信共同体)

- ITU-T勧告 A.7(Focus Groupの設置・運営)について、前回会合(2011年10月)に引き続き、Focus Group活動にITU予算を利用可能とすべき等の改定案を検討。2012年11月のWTSA-12へAPT共同提案として入力することを目指し、引き続き検討することとなった。
- ITU-T決議35(SG及びTSAG議長・副議長の任命及び最大任期)について、日本から副議長数に関するガイドラインの追加等を提案し、日及び豪により改定案を検討。次回会合に向けて、引き続き検討することとなった。
- 次研究会期のSG構成に関しては、WTSA-08のSG再編原則(新参加者の獲得、重複の回避、効率性、適正な規模等)、及び前回会合の日本提案(新課題での他機関との柔軟な連携等)に基づき、SG再編の原則に関するAPT共同提案を作成することとなった。また、具体的なSG構成については、現行の10のSGを維持した上で、新たなSGの設置の可能性も考慮する方向で、APT共同提案を作成することとなった。
- 次研究会期のSG議長・副議長選出について、日本から、SG3(料金・会計原則)の議長にKDDI 津川氏(現SG3副議長、新規)、SG16(マルチメディア)の議長に三菱電機 内藤氏(現職、継続)を推薦予定である旨を表明。

TSAG: Telecommunication Standardization Advisory Group(電気通信標準化アドバイザーグループ)

(今後のスケジュール)

次回WTSA-12 APT準備会合(第4回)は、2012年8月2日(木)～4日(土)にかけてタイ(バンコク)において開催予定。また、本準備会合の出力文書の一部は、同年7月2日(月)～4日(水)にかけて開催されるTSAG(電気通信標準化アドバイザーグループ)会合にも入力される予定。

